



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-5550-7062

担当者の所属・氏名：リハビリテーション科 岡村大介

【研究責任者】

聖路加国際病院 リハビリテーション科 岡村大介

【研究代表者】

順天堂大学保健医療学部理学療法学科 齊藤正和

透析されている方を対象とした運動量と予後に関する研究

1.研究の対象

- 1) 2021年1月1日の時点で当院腎センターに通って外来透析を受けている方。
(透析開始から半年以上経過されている方)
- 2) 年齢20歳以上の方

2.研究の目的・方法

- ・透析を受けている方が現在どの程度運動をしているのか、どんな生活をしているのか、手足の力がどのくらいあるのかなどを調査します。
- ・必要に応じて日常生活で行う運動の方法を指導します。
- ・その後も3ヶ月に1回程度運動の状況や再始動を行いながら、1年毎に改めて日常生活や身体機能、健康状態をチェックします。
- ・約5年間、その後の経過をフォローし、日常生活や身体機能、健康状態がどのように変化したかを確認します。
- ・多くの方の経過を見させていただき、運動量や筋力などがその後の生活にどのように影響するか？ また、どういった方にリハビリが必要なのかを検証していきます。
- ・調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2027年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

- ・主なデータ項目は以下となります。
 - 《情報》カルテ番号、年齢、性別、病歴、日常生活状況、運動状況、血液検査結果、心臓機能、体組成、等
 - 《測定》筋力、歩行能力、バランス能力
 - 《アンケート》日常生活活動量、心理状態、認知機能
 - 《予後調査》転倒、心血管病の有無、要介護認定

4.外部への試料・情報の提供

- ・集めた情報は個人情報をも伏せた状態で、共同研究のデータセンターを担っている施設に電子的に配信し、特定の関係者以外はアクセスできない状態で行います。当院のデータは、当院の研究責任者が保管・管理します。

5.研究組織

順天堂大学附属病院（齊藤正和）、東葉クリニック八街（近藤久江）、東葉クリニックエアポート（小川真澄）、岩槻南病院（三上健太）、新潟臨港病院（白井信行）、魚沼基幹病院（佐藤陽一）、東葛クリニック病院（篠崎信人）、新潟医療福祉大学（椿淳裕）、嬉泉病院（白井直人）